

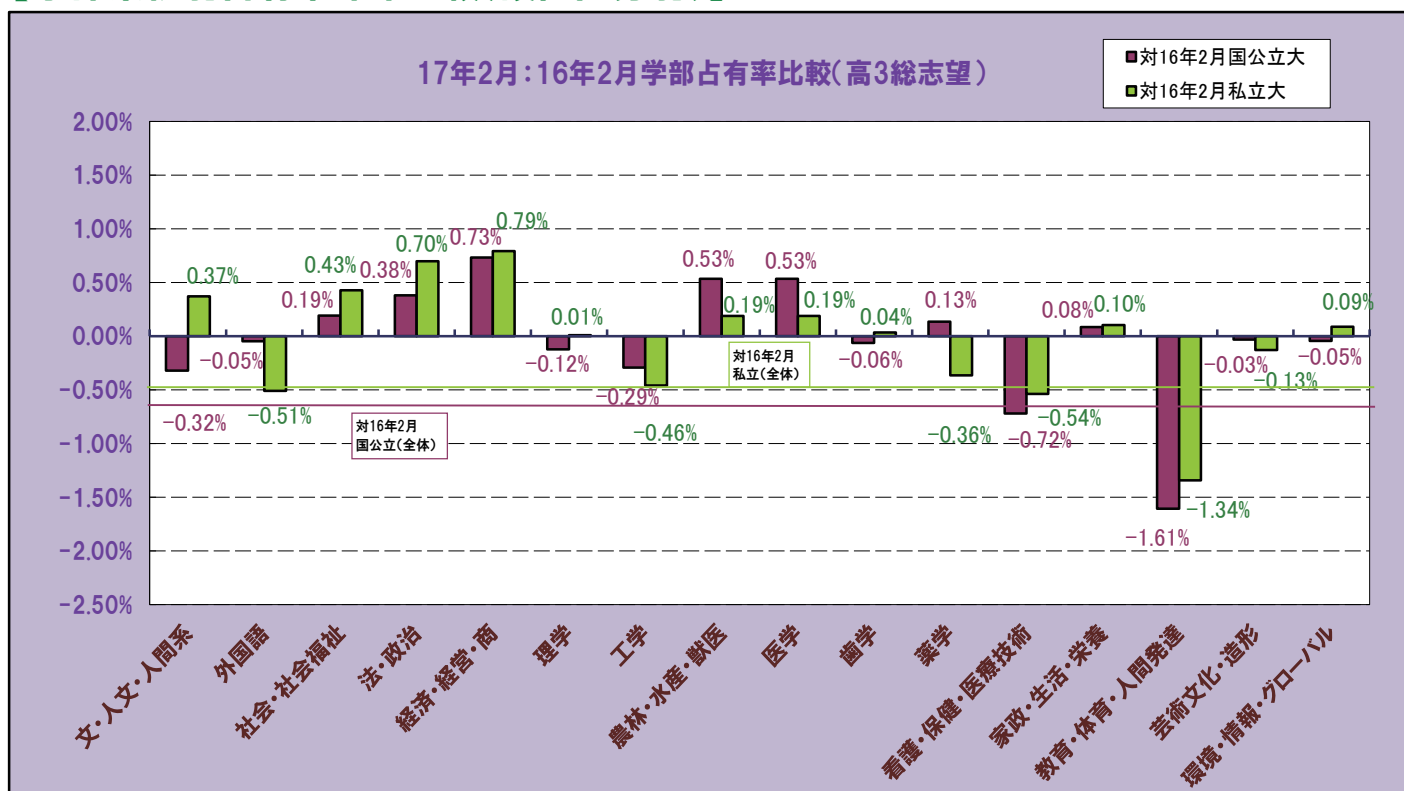
# 第1回 2月 センター試験本番レベル模試

## 春がやってくる前に 基礎固めをしっかりと！

2月19日（日）に実施した「第1回 2月 センター試験本番レベル模試」の新高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期に同模試を受験し、間もなく大学入試を終えようとしている現高3生の志望動向と比較した。もうすぐ受験シーズンを終えようとしている先輩たちは昨年のこの時期、大学で何を学ぶことを目指してスタートを切ったのだろうか。

大学入試センター試験は基礎・基本事項の理解の度合いが勝負の分かれ目となる。この模試の復習をすることから始めて理解があいまいな項目をなくすようにしよう。

### 【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



### 【学部系統別指数(設置区分別)】\*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	95	103	102
外国語	97	79	86
社会・社会福祉	115	109	112
法・政治	107	107	108
経済・経営・商	107	104	106
理学	98	100	98
工学	105	104	104
農林・水産・獣医	95	84	90
医学	106	108	104
歯学	92	115	96
薬学	103	92	97
看護・保健・医療技術	90	88	89
家政・生活・栄養	109	107	108
教育・体育・人間発達	83	79	80
芸術文化・造形	93	89	92
環境・情報・グローバル	99	101	101

#### ■国公立大

社会・社会福祉系、法・政治系、経済・経営・商学系などの社会科学系学部は変わらず人気である。

2017年度入試で新フンボルト入試を導入したお茶の水女子大学が注目されていることもあり、家政・生活・栄養系も人気となっている。

国公立全体としては、近年の「文高理低」の志望動向ではあるものの、文系・理系ともに学部系統によっては差がある状況。

#### ■私立大

教育・体育・人間発達系は引き続き減少傾向。農林・水産・獣医系と外国語系学部の志望者数の大幅減少となっている。

一方で、2016年度の東北医科薬科大学や2017年度の国際医療福祉大学の医学部新設が話題となった医学系は引き続き人気が続いている。

※このデータは、2017年と2016年の「第1回 2月 センター試験本番レベル模試」について、大学の設置区分（国公立・私立）ごとに学部系統別の総志望者数（統一実施日受験の高3生・第6志望まで）から算出した割合を比較したものである。